

地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 録磨する人間

2019/12/17（火）発行

校長通信 NO36

北海道日高等学校

町田英謙

第2回学校運営協議会

12月4日（水）19：00から日高町民センター集会所において、委員等20名が参加して今年度第2回目の学校運営協議会（CS）が開催されました。

はじめに、山田会長より急激に気温が下がり、いよいよ冬本番の季節となり、参加委員の体調を労っていただきました。また、今後の日高地区の状況、学校と産業学習との地域との係わりについて触れていただきました。

次に、日高町教育委員会生涯学習課長の関本様より、高校・産業学習の活動報告と、現在の産業学習入講希望者数について説明がありました。

協議事項となり、校長より学校概況説明では、現在の在籍数の確認、昨年度の入学者数が減少していることから、今年度の重点項目として「生徒確保」に向け、本校の学校存続に向けた施策・取組について説明しました。

（1）産業学習コース制の変更について

昨年度、日高町教育委員会の学校来校、学校運営協議会での議題事項であった内容について説明。来年度の入学生より「アウトドアコース」を新設。地域の自然環境、日高青少年自然の家、北海道アウトドア・アドベンチャーズとの協働で地域資源を最大活用したコース設定。現在、福祉コースが行っている地域福祉活動については、全校生徒で継続実施していくことを確認した。

（2）高校寮管理の運営体制変更について

高校寮の管理体制の整備、委託業者を「ひだか高原荘」に変更し、食事等の改善を図った。

（3）日高町からの支援について

日高町には2校の高校があり、町議会において支援体制を整備していただいている。アンケート調査を実施したが、概ね現状で良いと回答。今後、更にご意見・ご要望があれば生涯学習課を通じて日高町へ陳情する。

（4）生徒募集について

道外説明会大阪地区の廃止。札幌・帯広における学校説明会の新設（大阪分の予算計上で実施）。広報活動の効率化。これにより今年度生徒確保については良好。次年度以降についても継続。

（5）地域活動の強化と学校間交流について

第1回学校運営協議会以降の活動を画像にまとめた内容を提示。スキー交流で十勝の大樹高校、管内の富川高校と道立高校学校間交流を実施。沖縄県伊是名小学校との交流、生徒には教える経験を活かす活動。

（6）進路状況について

昨年度、琉球大学、北海道医療大学（薬）を受けて、今年度も3年生が健闘している。

（7）今後の予定

学校評価について自己評価の提示、運営協議会委員より外部評価いただき、今後の学校経営を推進させる。

以上のような内容で第2回の学校運営協議会が開催されました。この会がコミュニティとして、様々な事業所から忌憚のないご意見を伺い、参加者全員で日高町（日高地区）の課題について共有することができました。

これからも学校運営協議会が地域のコミュニティとして、各事業所からの提案に対して真摯に対応できればCS設立の根幹に役立てることができると考えます。

今回、日高青少年の家 中田所長より、アウトドアコースの新設にあたり、施設事業のバックアップと「総合的な探究の時間」を活用した地域の高校生が活動を推進していく事業のご案内をいただき、次年度以降の学校経営の大きな柱となることを確信した素晴らしい協議会でした。

SC来校

12月5日（木）、スクールカウンセラー土井敦子先生が今年最後のご来校されました。本日及び明日、2日間よろしくお願い致します。土井先生におかれましては、本校のSCとして十年以上、年間十数回の来校をいただいております。生徒は勿論のこと教職員、保護者に関しても広い視野で生徒の成長過程にある様々な障壁をご指導・助言いただきながら課題解決に貢献されています。

今年度もカウンセリングを通し、相談者やその周囲の環境を整えてくださり、本校の屋台骨として学校を支えていただいています。遠隔地より宿泊してご対応、大変ご苦労をお掛けしますが、次年度以降もよろしくお願い致します。

進路講話

12月9日（月）1校時に、3学年対象の進路講話が開催されました。今回は町内の株式会社磯田組 代表取締役磯田 洋一様に「仕事内容やそのやりがい、難しい点」「社会人となる生徒へ期待すること」についてご講話をいただきました。卒業後に就職する生徒については、社会人となるまでの準備と心構えを丁寧にお話しいただきました。

成績会議

12月11日（水）、2学期末の成績会議を行いました。中間・期末考査の学習定着の確認、日頃の授業における達成目標のグループワーク・ペアワーク、発表や提出物等について観点別で評価した内容を各教科から提示していただきました。年明けには、学期末考査で卒業認定や進級認定に向け、1年間の締め括りとなりますが、日々の積み重ねが大切となりますので、各教科の先生方におかれましては、ご指導の程よろしくお願い致します。

令和元年の終了にあたり

5月より新元号の「令和」が始まり、国民全体が期待を膨らませ、あっという間に令和元年が終了しようとしています。前号で記載させていただきましたが、今年は、台風被害により全国の多くの地域が被災され、現在でも復興が整っていない地域が沢山あることに心からお見舞いを申し上げます。

さて、中教審答申であった大学入試改革において英語4観点での技能試験の見送りとなり、生徒達が学問を広く進める学習の見直し機会が足踏み状態になり、滞りを感じているところです。

学習指導要領における根幹は、知識・教養を身に付けて、自分の視野を広く、そして世界に羽ばたいていけるような人材の育成を目標としています。これからの生徒の育成は、自分の考えを持ち、相手と協調してよりよい考えを生み出していく人材の育成、社会との共生に向け、規範意識を高く前向きに努力できる人材の育成、新時代の到来に向け、柔軟な思考力や判断力ができる人材の育成等、沢山の考えや目的はあると思います。それを実行し、生徒達に伝え教えることができるのは、教育職の使命であり、責任だと思っています。

今年一年大変ご苦労様でした。冬期間の休業期間を利用して心身共にリフレッシュしてください。